

株 主 の 皆 様 へ

FUJI NIHON SEITO CORPORATION



第92期 中間報告書

2014年4月1日から2014年9月30日まで 証券コード：2114

 フジ日本精糖株式会社

## 企業理念

私たちは、「夢のあるたくましい会社」を目指し、健康な生活づくりに貢献します。

## 経営方針

- ① 顧客第一主義の徹底
- ② 社員が会社と共に成長し自己実現を目指す企業文化の形成
- ③ 社会に評価される企業価値の向上
- ④ 研究・開発の推進による新たな価値の創造
- ⑤ 公正で透明性のある企業活動の徹底
- ⑥ 地球に優しい環境経営の強化・拡大
- ⑦ 社会に貢献する企業市民活動の推進

### CONTENTS

トップインタビュー	..... P 2
セグメント別の状況	..... P 5
連結財務諸表	..... P 7
会社の概況／株式の概況	..... P 9
トピックス	..... P10

#### ● 表紙の写真について

表紙の写真は、当社「写真同好会」の辻田和人が撮影した作品です。



撮影地 - 富士宮市 田貫湖 - 「湖畔の秋」

## トップインタビュー

### 当上半期の遅れを期末に向けて挽回し、通期目標の達成を目指します。



代表取締役社長 船越 義和

様との関係強化を図りながら、採算重視の販売を推進してまいりました。そうした取り組みにより、販売単価については改善を果たしましたが、消費増税の反動や夏場の天候不順などの影響を受け、販売数量が減少した結果、減収・減益となりました。

機能性素材事業は、「イヌリン」の販売拡大に努めたものの、前年同期をやや下回る荷動きで推移しました。ユニテックフーズ株式会社は、OEM受託事業の受注が予想を下回ったことにより、売上高は若干ながら前年同期を下回りました。同社では、プレミックス事業を新たな収益の柱とすべく、今年4月から当社清水工場内に清水プラントを立ち上げブレンド加工を開始しました。当事業全体としては、輸入加工原料が若干伸び、前年同期並みの売上高となる一方、利益面では、タイの「イヌリン」の販売開始が遅れ費用が先行したことから、損失を計上しました。

**Q** 当上半期の営業状況についてご説明願います。

**A** 精糖事業は販売数量が減少。機能性素材事業はタイの「イヌリン」生産工場における費用先行が響きました。

当上半期の連結業績は、売上・利益ともに前年同期を下回り、売上高98億2千6百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益3億6千6百万円（同34.6%減）、経常利益4億9千6百万円（同20.2%減）、四半期純利益3億3千5百万円（同11.4%減）にとどまりました。

営業状況を事業別に振り返りますと、精糖事業は引き続き営業力の強化を最重要課題として掲げ、さまざまな形でお客

**Q** 「イヌリン」事業の今後の展開についてお聞かせください。

**A** タイ工場の本格生産がスタート。国内および三国間向けの拡販に注力し、早期に収益性を確立していきます。

タイ・バンコクに合併設立したFuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.の「イヌリン」生産工場は、今年4月から本格稼働を開始しましたが、品質の安定化に時間を要したことから、日本への輸入時期がずれ込んでおり、販売は下半期からとなります。

当面は「イヌリン」の品質と操業の安定化を図りながら、タイへの生産シフトを進め、日本国内および三国間向けの販売拡大に注力し、早期に収益性を確立していきます。営業展開としては、飲料業界や乳製品業界を中心にアプローチしていく考えです。

**Q** 下半期の展望と通期業績の見通しはいかがですか？

**A** 当上半期の遅れを期末に向けて挽回する予定であり、通期業績は当初の計画値を変更していません。

精糖事業は、依然として砂糖消費量の漸減傾向に歯止めがかからず、下半期も厳しい販売環境が続いていくものと思われま

す。当社はこうした状況に対処すべく、精糖事業の営業力強化に向けた取り組みを継続し、製品の安定供給に努めながら、採算重視の販売に徹していきます。

機能性素材事業は、「イヌリン」の国内販売が前年同期並みと伸び悩むなかで、当上半期におけるタイ工場の生産や販売の遅れが、利益面に影響をおよぼしていますが、下半期にはこの改善に一層注力していきます。また、タイ産「イヌリン」の拡販と並行し、切花活力剤「キープ・フラワー」の既存市場のテコ入れや、新製品として投入した水揚促進剤「ハイ・スピード」の販売に注力していきます。ユニテックフーズ株式会社は、既存天然素材の拡販を図りつつ、プレミックス事業におけるコンビニエンスストア関連商品等、大手ユーザー向け製剤の受注を目指します。

当上半期の業績としては、上振れした四半期純利益以

外は、売上をはじめとして計画値を下回っていますが、下半期は消費増税による影響が薄まり、タイ合弁会社による「イヌリン」の生産・販売も軌道に乗せていくことから、期末に向けて挽回できる予定です。

以上により、通期の連結業績は当初の計画値を変更せず、売上高210億円（前年同期比4.2%増）、営業利益8億5千万円（同4.9%増）、経常利益9億6千万円（同3.1%減）、当期純利益6億円（同0.9%増）を見込んでいます。

**Q** 「食」の安心・安全について、どのように考えていますか？

**A** 広く社会に食品を供給するメーカーとして、その責任を強く自覚し、全社で意識を共有しています。

「食」の安心・安全に対する消費者の意識が高まるなかで、最近においても中国の食肉加工メーカーによる使用期限切れの鶏肉加工問題などを機に、生産者や流通業者の品質管理体制やコンプライアンス面に対して向けられる視線は、一層厳しさを増しています。

こうした状況下、当社は広く社会に食品を供給するメーカーとして、その責任を強く自覚し、全社で意識を共有するとともに、「食」の安心・安全の確立・維持を最重要課題と捉

えた取り組みを継続しています。

品質マネジメントの国際規格「ISO9001」に基づく生産管理を全社で徹底し、最近では共同生産会社による食品安全マネジメントシステム「FSSC22000」の認証取得を支援するなど、グループ全体で対応の強化を図っています。

**Q** 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 今後は食品関係ビジネスにおいても、東南アジア市場への展開を積極的に進めてまいります。

当期の期末配当につきましては、株主の皆様への利益還元を重視した配当政策に基づき、事業を取り巻く環境を勘案の上、1株当たり9円（前期同額）を予定しています。利益還元のさらなる拡充に向けて、引き続き業績の向上に努めてまいります。

なお当社はこのたび、多角化・新規事業への取り組みおよび海外展開の一環として、タイにおいて日持ちパン（ロングライフパン）の製造販売を手掛ける合弁会社を設立しました。まだ事業規模も小さく、当社業績への影響もほとんどありませんが、今後こうした食品関係ビジネスにおいても、東南アジア市場への展開を積極的に進めていく考えです。

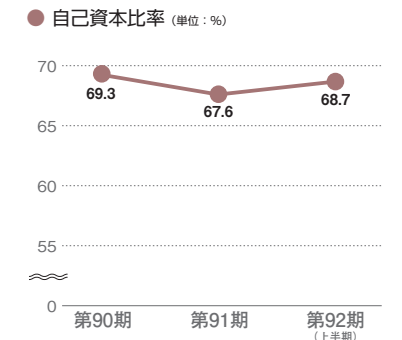
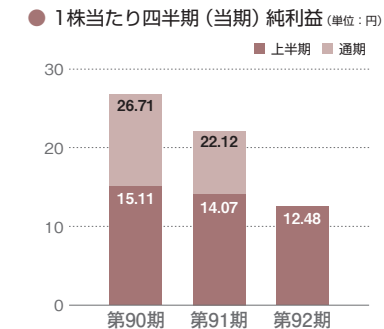
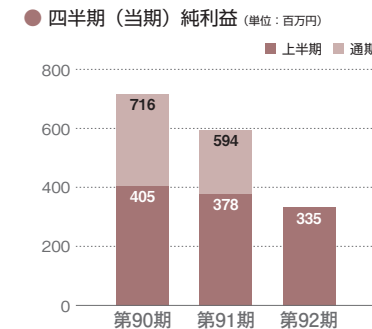
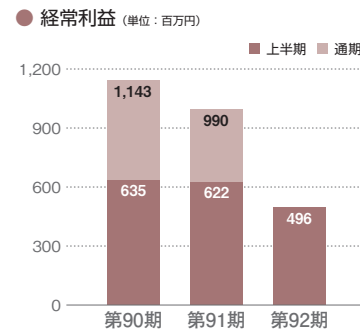
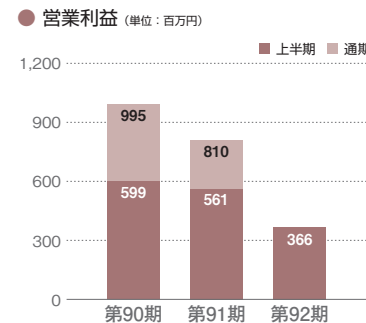
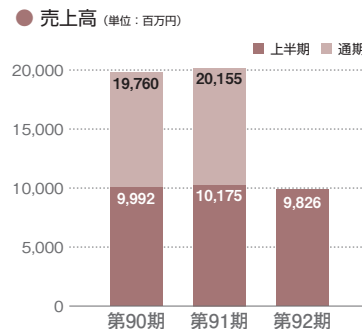
株主の皆様におかれましては、これからも当社事業の成長



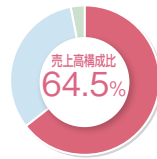
をお見守りいただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結業績ハイライト

## CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS







### 精糖事業

事業内容：精製糖、砂糖関連製品の製造販売を行っております。

#### 当上半期の概況

売上高：6,339百万円  
営業利益：585百万円

精糖事業につきましては、海外原糖市況は期初ニューヨーク先物市場17.18セント（1ポンド当たり）を付け、その後暫くは一進一退を繰り返しながら堅調に推移しました。

しかし、世界の砂糖生産はエルニーニョ現象による減産懸念が伝えられたものの、前年比増で推移し余剰在庫は膨らみ続けました。その後、世界の砂糖消費は景気減速から伸びず相場は下げに転じ当上半期末は15.48セントにて終了しました。

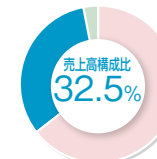
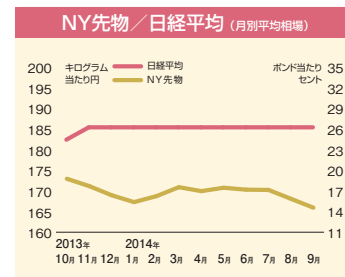
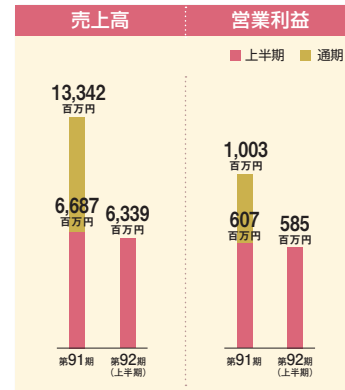
ニューヨーク市場先物相場（セント/ポンド当たり）の動き

期初	高値	安値	期末	平均
17.18	18.28	13.32	15.48	16.57

一方、国内製品市況は期初東京現物相場186円（上白大袋1キログラム当たり）で始まりましたが、海外原糖相場が小幅のレンジで推移したため、そのまま186円で当上半期末を迎えました。

製品の荷動きについては消費増税の反動と夏場の天候不順などから菓子類や清涼飲料向けが低調な荷動きとなり、上白糖や液糖を中心に前年同期を下回る販売量となりました。

この結果、採算重視の販売に徹したことにより販売単価は若干上昇したものの、売上高は6,339百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益は585百万円（同3.6%減）と減収・減益となりました。



### 機能性素材事業

事業内容：機能性食品素材、食品添加物、切花活力剤等の製造販売、果実加工原料の販売を行っております。

#### 当上半期の概況

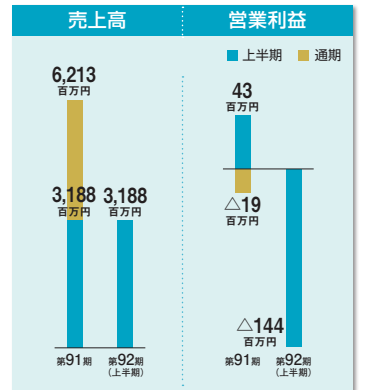
売上高：3,188百万円  
営業損失：144百万円

機能性素材事業につきましては、機能性食品部門では機能性食品素材「イヌリン」の国内ユーザーへの販売が伸びず、ほぼ前年同期並みの荷動きで推移しました。

切花活力剤部門では、国内花卉業界が低迷するなか、4月の消費税率引き上げによる反動もあり、販売数量は前年同期を下回る結果となりました。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、主力製品の輸入原料コスト高騰による販売価格の値上げが漸く浸透してきたことから採算の改善がみられたものの、OEM受託事業の受注が予想を下回ったことから、売上高は若干ながら前年同期を下回りました。

これらの結果、機能性素材事業の売上高は3,188百万円（前年同期比0.0%増）となりましたが、タイの連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.において、当上半期に本格稼働をスタートさせたものの、安定生産までの費用が先行したことにより、営業損失は144百万円（前年同期 営業利益43百万円）となりました。



### 不動産事業

事業内容：当社が所有する土地建物の賃貸およびその他不動産関連事業を行っております。

#### 当上半期の概況

売上高：299百万円  
営業利益：265百万円

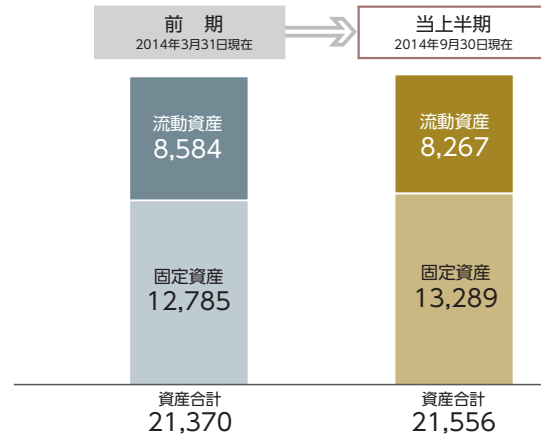
不動産事業につきましては、所有不動産の稼働率および維持管理費が概ね計画どおりに推移し、安定収益に貢献いたしました。

この結果、売上高は299百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は265百万円（同2.4%増）となりました。

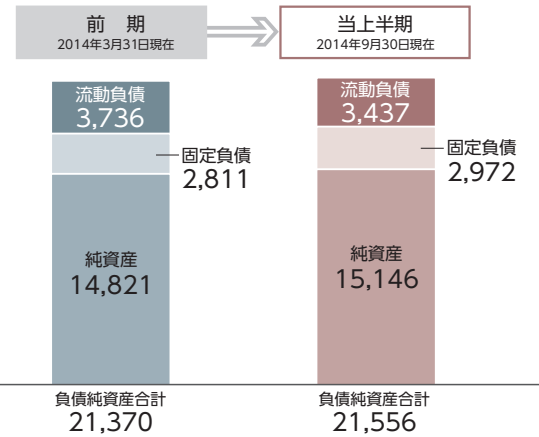


連結貸借対照表

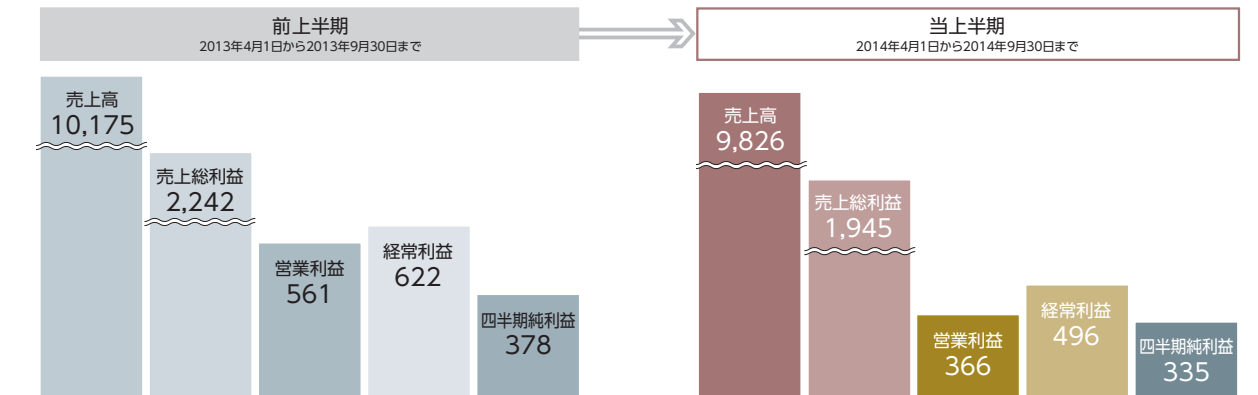
● 資産の部 (単位: 百万円)



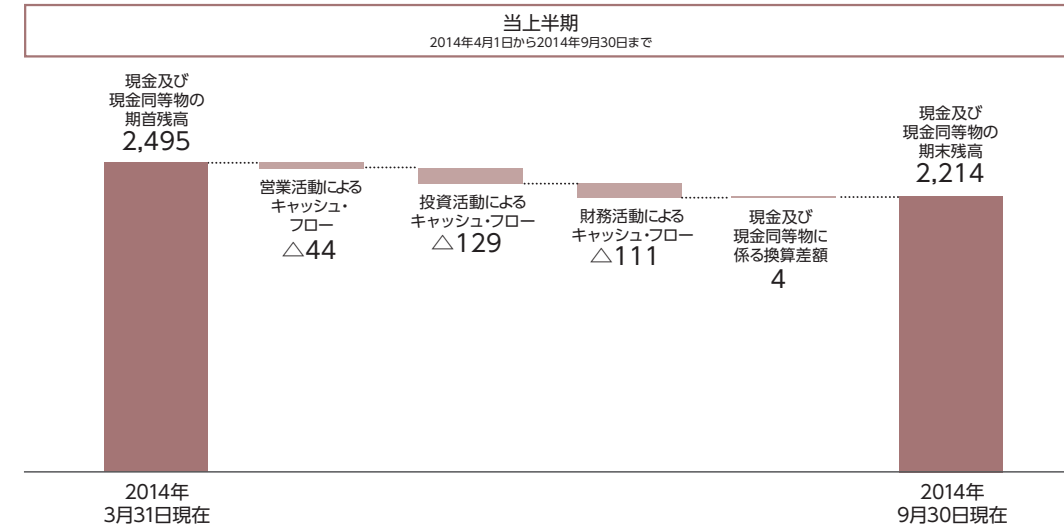
● 負債の部 (単位: 百万円)



連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



財務のポイント

● 資産

資産につきましては、流動資産で前期末に比べ3.7%減少し、8,267百万円となりました。これは主に現金及び預金、原材料及び貯蔵品の減少等によるものであります。

また、固定資産は前期末に比べ3.9%増加し、13,289百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加等によるものであります。

● 負債

負債につきましては、流動負債で前期末に比べ8.0%減少し、3,437百万円となりました。これは主に

買掛金の減少等によるものであります。

また、固定負債は前期末に比べ5.7%増加し、2,972百万円となりました。これは主に長期借入金の増加及び繰延税金負債の増加等によるものであります。

● 純資産

純資産につきましては、前期末に比べ2.2%増加し、15,146百万円となりました。これは主に時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加及び四半期純利益計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

会社概要

商号 フジ日本精糖株式会社  
 英文名 Fuji Nihon Seito Corporation  
 設立 1949年(昭和24年)7月  
 資本金 1,524百万円  
 従業員数 65名  
 本社所在地 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号  
 電話 03(3667)7811(代表)  
 清水工場 〒424-0924 静岡県静岡市清水区清開一丁目4番10号  
 電話 054(334)5353(代表)  
 横浜共同生産工場 太平洋製糖株式会社  
 〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町13番46号  
 電話 045(501)0511(代表)  
 子会社 協立食品株式会社  
 ユニテックフーズ株式会社  
 Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.  
 FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd.  
 関連会社 太平洋製糖株式会社  
 マ・マーマカロニ株式会社  
 南栄糖業株式会社  
 Unitec Is Co.,Ltd.

役員

代表取締役社長 船越 義和  
 取締役常務執行役員 高梨 繁憲  
 取締役常務執行役員 櫻田 誠司  
 取締役常務執行役員 櫻田 礎久  
 取締役相談役 江口 達夫  
 取締役相談役 佐藤 伸郎  
 取締役 村上 光廣  
 常勤監査役 高橋 宏寿  
 監査役 上平 徹  
 監査役 加藤 茂治  
 監査役 内藤 健雄

執行役員

常務執行役員 佐塚 眞弘  
 執行役員 梶原 久雄  
 執行役員 山崎 伸夫  
 執行役員 小島 康克  
 執行役員 福田 弘  
 執行役員 大口 真央

監査法人

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株式の状況

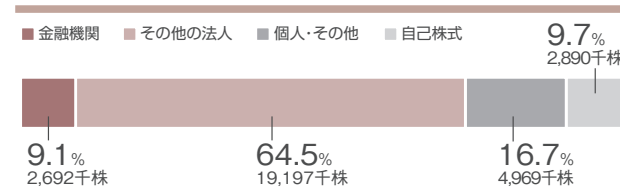
発行可能株式総数 110,000,000株  
 発行済株式の総数 29,748,200株  
 株主総数 3,576名

大株主

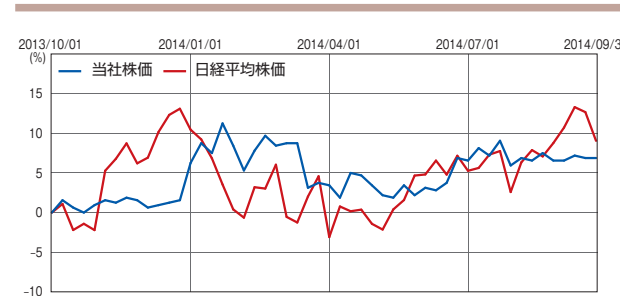
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
双日(株)	8,153	30.4
豊田通商(株)	2,459	9.2
鈴与(株)	1,402	5.2
和田製糖(株)	1,226	4.6
野村信託銀行(株)(信託口)	933	3.5
(株)静岡銀行	792	2.9
(株)榎本武平商店	558	2.1
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	500	1.9
東京海上日動火災保険(株)	447	1.7
小倉運輸(有)	440	1.6

(注) 出資比率は自己株式(2,890千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



比較チャート (2013年10月1日を基準日とした当社株価と日経平均株価の騰落率)



展示会レポート

Fi Asia 2014 (インドネシア) に出展

10月15日~17日の3日間、インドネシアのジャカルタで開催された食品素材の国際展示会「Fi Asia-Indonesia」に、当社「イヌリン」を出展しました。海外展示会への自社出展は今回が初めてであり、Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.製「イヌリン」の国際展開に向けた大きな第一歩を踏み出しました。

また、HALAL認証も取得し、イスラム圏への販売も可能となりました。当社は「イヌリン」を国際商品として位置づけ、日本はもとより将来のマーケットとして成長が見込まれる国と地域に拡販するべく、今後も注力してまいります。



Fi Asiaとは

「Food Ingredients (Fi) Asia」はASEAN諸国の食材や消費マーケットを紹介する国際イベントです。業界イベントの代表的な存在として、また成長するASEANの食材コミュニティーが一堂に会する唯一の展示会として続いています。あらゆる食品業に携わるパイヤーにとって、パートナーシップを得る絶好の機会となります。



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載URL <a href="http://www.fnsugar.co.jp/">http://www.fnsugar.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

## 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



## 株主優待制度のご案内

3月31日現在、当社株式1単元（1,000株）以上ご所有の株主の皆様へ、3,000円相当の当社商品詰合せを7月に贈呈いたします。



※株主優待品の一例。

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報や商品情報など様々な情報をご覧いただけます。また、ネットショッピングもお楽しみいただけます。



フジ日本精糖

検索

<http://www.fnsugar.co.jp/>